

# BUSINESS REPORT 2011



**SPT**  
Sodick Plustech

第 20 期 中間報告書

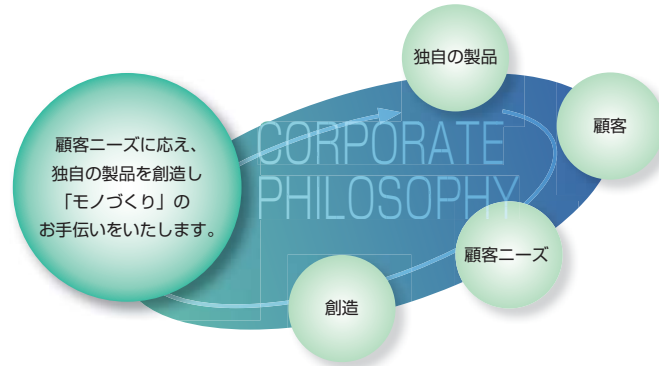
平成23年4月1日～平成23年9月30日

株式会社 ソディック プラステック



株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
ここに第20期中間（平成23年4月1日から平成23年9月30日）報告書をご送付申し上げます。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。  
なお、中間配当金は1株につき3円とさせていただきます。

代表取締役社長  
藤川 操

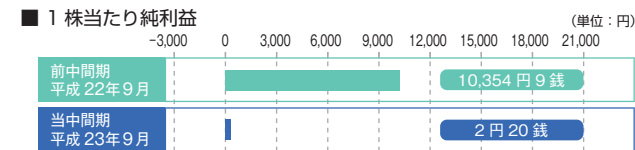
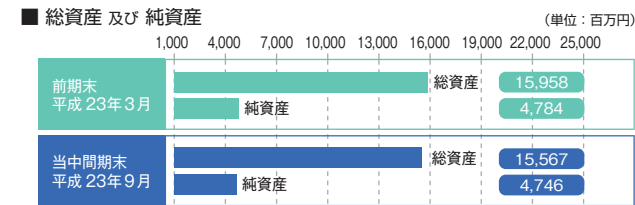
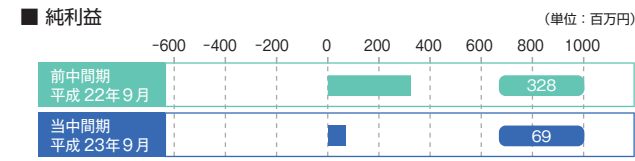
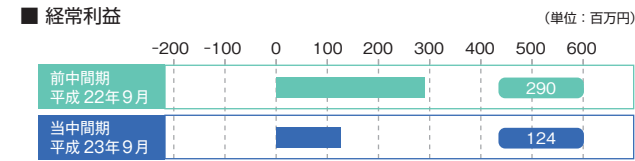
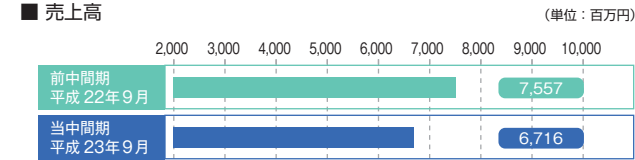


ソディックプラステック  
20年の  
技術革新実績

- 100,000 台** 高速・高応答性“リニアモータ・ユニット”の販売実績  
最高の制御精度と省力化を兼ね備えた独自開発モーションドライブ
- 10,000 台** Vライン可塑性・射出方式“安定・高精度射出成形機”の販売実績  
安定・高精度マシンならではのクオリティが競争力ある成形品を生み出す
- 1,000 ライン** 毎時3,000食以上“大型製麺プラン”の納入実績  
「安全」「安心」「エコロジー」で大手ナショナルブランドベンダーに
- 100 台** “A-CIP 全自動茹麺装置”の納入実績  
自動洗浄機能が付いた「高効率」「清潔」「簡単メンテナンス」
- 10 億** “全自動製麺ライン”を海外食品製造メーカーより10億円で受注  
高衛生レベル EHEODG 仕様の安心・安全プラントとして国内初の受注
- ONLY 1** 世界にひとつ“総合シミュレーションソフト”  
リニアモータ使用超精密ステージの動的特性シミュレーション

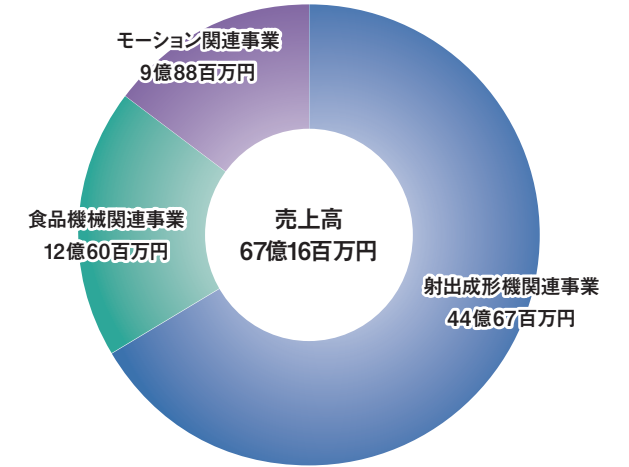
連結業績の推移

(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

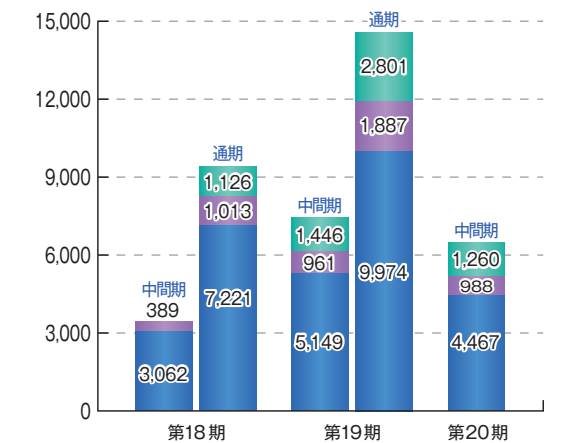


※平成22年10月1日付で普通株式1株を1,000株に分割しております。

セグメント別売上高



(単位：百万円)



■ 射出成形機関連事業 ■ モーション関連事業 ■ 食品関連事業

## 第2四半期連結財務諸表(要約)

### 連結貸借対照表

単位:百万円

科目	第19期 (平成23年3月31日)		第20期 (平成23年9月30日)	
<b>資産の部</b>				
流動資産	10,733		10,517	
現金及び預金	2,034		1,878	
受取手形及び売掛金	4,463		3,864	
製品	481		573	
仕掛品	1,470		1,611	
原材料	1,811		2,019	
その他	480		579	
貸倒引当金	△ 8		△ 8	
固定資産	5,224		5,050	
有形固定資産	4,314		4,204	
無形固定資産	742		682	
投資その他の資産	168		162	
資産合計	15,958		15,567	

### 連結損益計算表

単位:百万円

科目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	
売上高	7,557		6,716	
売上原価	6,073		5,372	
売上総利益	1,483		1,343	
販売費及び一般管理費	1,092		1,130	
営業利益	391		213	
営業外収益	45		30	
営業外費用	146		118	
経常利益	290		124	
特別利益	46		9	
特別損失	9		7	
税金等調整前四半期純利益	327		126	
法人税、住民税及び事業税	58		23	
法人税等調整額	△ 56		31	
法人税等合計	1		55	
少数株主利益又は損失(△)	△ 3		1	
四半期純利益	328		69	

単位:百万円

科目	第19期 (平成23年3月31日)		第20期 (平成23年9月30日)	
<b>負債の部</b>				
流動負債	8,101		7,841	
支払手形及び買掛金	4,054		3,993	
短期借入金	1,400		1,513	
一年以内返済予定長期借入金	1,162		1,369	
未払法人税等	108		50	
その他	1,376		914	
固定負債	3,072		2,979	
負債合計	11,174		10,820	
<b>純資産の部</b>				
株主資本	4,830		4,790	
資本金	2,873		2,873	
資本剰余金	1,298		1,298	
利益剰余金	657		618	
その他の包括利益累計額	△ 46		△ 45	
新株予約権	—		—	
少数株主持分	—		1	
純資産合計	4,784		4,746	
負債純資産合計	15,958		15,567	

### 連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	300		165	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 46		△ 225	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 567		△ 87	
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 10		△ 20	
現金及び現金同等物の増減額	△ 324		△ 168	
現金及び現金同等物の期首残高	2,362		2,034	
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	176		12	
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,214		1,878	

## TOPICS

### 射出成形機事業部

## 現況

国内においては前半、自動車業界の受注の低迷はあったものの、スマートフォン関連、電子精密部品業界の売上は比較的に堅調でしたが、後半は東日本大震災に伴い生産活動が変化し、さらには急激な円高の影響もあり、受注は低調に推移しました。一方、海外においては、中国の金融引締め政策の影響で需要の伸びが鈍化し、急速な円高の進行により海外向けの出荷は減少となりました。その結果、売上高は、全体で前年比△15%となりました。このような中、世界市場をターゲットとしたグローバルスタンダードマシンである中国生産機「GA100」を今秋より販売開始をしました。これまでに以上に、幅広い層への拡販が期待できます。

## 新製品



**PE100**  
二軸可塑化装置搭載射出成型機

**二軸可塑化装置搭載射出成形機「PE100」を発売開始**

信州大学工学部の中山昇准教授らのグループと弊社が、炭素繊維微細素材「ナノカーボン」と樹脂とを組み合わせた複合材料の成形に適した射出成形機を開発しました。可塑化スクリーンを二軸にすることにより、従来、混練しにくかった「ナノカーボン」等の材料も、最適な分量でムラなく均一に分散することができます。粉体から成形することができるため、ベレット化の一工程が削減でき、ECOに貢献することができます。均一に分散できる高混練機能は、特に、より高価な材料も使う分野あるいは、新材料の開発分野において、新たな可能性を生み出すことを実現します。



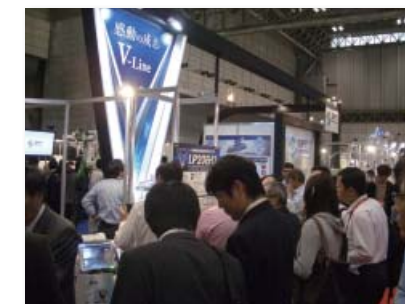
**SAMPLE**

■ 育苗ポット  
IPF2011では生分解性プラスチック(70%)とホタテ貝殻粉(30%)を混ぜた材料で「育苗ポット」を成形実演しました。

## 展示会

### IPF JAPAN2011(国際プラスチックフェア) 出展

2011年10月25日から29日まで幕張メッセにてIPF JAPAN2011が盛大に開催され、新製品・新技術を多数発表しました。東日本大震災、円高等の影響で、来場者の減少が予想され、会場全体の来場登録者数は43,745名と前年比35%の減少でしたが、当社ブースは、前年比5%の増加で、活況を呈していました。IPFは、米国のNPE、欧州のKと合わせて世界3大プラスチック展と称される国際展示会で、3年に1回開催されており、特にアジア圏のユーザーから注目されています。当社は、「感動の成形」をメインテーマに、V-LINE SYSTEMの優位性をさらに進化させた新製品を、発展が期待できる分野をターゲットに紹介しました。



### 売上高

2010年度上期  
5,149百万円

2011年度上期  
4,467百万円

### 営業利益

2010年度上期  
582百万円

2011年度上期  
232百万円

## G モーション事業部

## 現況

前年度は中国子会社である機械科技社のGモーション製品事業の立上げに注力しました。また、前年度上半期の売上げの80%は利益率の悪いステージ売上げとなっていたため営業利益はマイナスでした。今年度は機械科技社からの出荷が始まりロイヤリティなどの収入がGモーション事業部に入るようになりました。以上の結果により売上高は前年度比88%と減少したものの、営業利益は△31百万円から133百万円と大幅な増益となりました。増益の主な要因は原価率が前年度98.4%から今年度77.7%と大きく減少したこと、利益率の高い製品への絞込みを行ったことによります。

## 中国2子会社の状況

Gモーション製品に関係する中国子会社には磁性材料社と機械科技社があります。磁性材料社は既に事業として立ち上がっていましたが売上げの低迷や歩留まりが悪いことにより前年度上期の営業利益はマイナスでした。今年度は日本のGモーション事業部からの指導により歩留まりが向上し、また売上げも増加したことにより営業利益をプラスにすることができました。機械科技社としては、前年度の売上げはリニアモータのみとなっていたため前年度上期の営業利益はマイナスでした。今年度は新たにドライバと回転モータが売上げに加わったため大幅な売上げ増となり、営業利益もプラスとなりました。

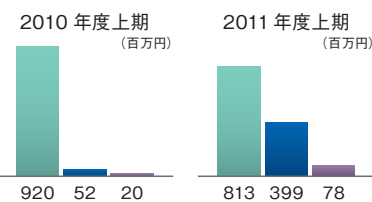


## 今年度に販売製品に追加となったドライバと回転モータ

前年度に日本のGモーション事業部がモータドライバと回転モータを開発しました。同じく前年度にドライバと回転モータの生産ラインを機械科技社に立上げました。ドライバと回転モータはリニアモータと同様にテーブル駆動系に使用され、工作機械や産業機械向けに出荷されます。機械科技社製ドライバはPWMアンプというタイプで特に高精度用として使用されます。機械科技社製回転モータはIPMモータと呼ばれるもので、省エネに特長があります。IPMモータはソディック製ワイヤ放電加工機に採用され、省エネ実現に貢献しました。

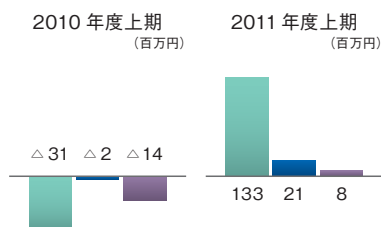
## 売上高

GMT  
機機科技社  
磁性材料社  
(全社共単体決算数値)



## 営業利益

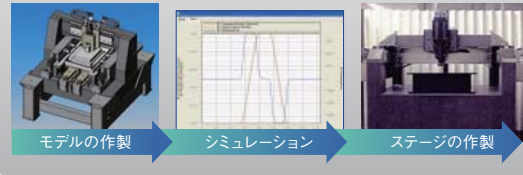
GMT  
機機科技社  
磁性材料社  
(全社共単体決算数値)



## 製品

## SPTしか出来ないテーブルユニットの設計を可能にする「総合シミュレーションソフト」

ステージ設計の過程で動的制度をシミュレーションにより確認して実機製作



一昨年に開発した運動性能解析ソフトウェア「総合シミュレーションソフト」(非売品)を使用することにより、非常に難しいとされるフィードバック系の動的精度をコンピュータ上で確認できます。これを使うことにより、繰り返して試作機を製造し、動的精度を測定しながら改良して最終ステージに到達するという、従来行われた開発過程が不要となりました。設計前の見積り段階において動的精度の保証を行えるのは「総合シミュレーションソフト」を持っているSPTだけなので、未知の分野にトライしている最先端企業の方々から「総合シミュレーションソフト」を使って設計したテーブルユニットのご注文をいただいております。

## 食品機械事業部

## 現況



製麺設備の茹槽内部を全て自動洗浄することで、麺の衛生維持に貢献している当社独自技術を持つ「CIP型自動茹麺装置」を上期前半に2ラインの導入を致しました。6月には、麺の商品価値の高い「ロングライフ麺」の生産設備である、大型殺菌装置2基の導入があり、フル生産に寄与しています。

上期の売上高は、ほぼ予定通りの1,260百万円となり、営業利益は、期初予定のマイナス幅が28百万円ほど改善されたものの、△42百万円の結果になりました。営業利益のマイナスについては、下期の海外向け大型設備導入が控えていることで、上期の生産調整を余儀なくされたものです。

## 製品

## 国内メーカー発 欧州の食品衛生に準拠した製麺ワンタン皮の生産設備ライン

海外向け大型設備の生産に着手。冷凍カップ麺の生産設備の3ラインであり、欧州の食品衛生法規を推進する“EHEDG(イーヘッジ)”に準拠した製品となっています。たとえば、製品を全周溶接構造によりあらゆる隙間を無くし、異物混入や菌繁殖をシャットアウト。また、清掃性を高めるため、自動化機能やワンタッチ脱着機能などを、各箇所機構部に採用して9月後半に、日本国内ユーザー様に弊社工場へご来訪頂き、この3ラインの設備の内覧会を開催し、その反響に抛りまして下期の受注へ数件の設備導入が決定しています。



## 東日本大震災への義捐金



4月、東北地方太平洋沖地震の被災者に対し、当社として300万円の義捐金を日本赤十字社に寄付いたしました。また、従業員へ義捐金を募りましたところ、総額421,505円の義捐金が集まり、「ソディックプラスチック従業員一同」として、日本赤十字社に寄付いたしました。

# 株式の状況

## 株式の状況 (平成23年9月30日現在)

■ 発行済株式総数 31,758,000 株

■ 株主総数 1,769 名

■ 所有者別株式分布状況

	金融機関・証券会社	外国法人等	その他の法人	個人・その他
平成 22 年 3 月末	1.9	0.1	65.6	32.4
平成 23 年 3 月末	1.9	0.2	65.7	32.1
平成 23 年 9 月末	1.4	0.0	65.8	32.7

■ 大株主 (上位 10 名)

株主名	持株数 / 百株
株式会社ソディック	204,440
鈴木 正昭	10,200
古川 利彦	10,000
ソディックプラスチック栄光持株会	8,020
大迫 健一	5,000
藤巻 繁	3,209
ソディックプラスチック従業員持株会	3,000
佐野 定男	2,000
市川 剛志	2,000
藤川 操	1,640

※1. 平成 22 年 10 月 1 日付で株式分割を行ない、1 株を 1,000 株に分割しております。  
 ※2. 平成 22 年 10 月 1 日付で単元株式数を 100 株にしております。

## 株主メモ

事業年度	毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで
定時株主総会	毎年 6 月開催
基準日	定時株主総会 毎年 3 月 31 日 期末配当金 毎年 3 月 31 日 中間配当金 毎年 9 月 30 日 そのほか必要があるときには、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	住友信託銀行株式会社
( 同連絡先 )	〒183-8701 東京都府中市日鋼町 1 番 10 住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-176-417
( インターネット ホームページ URL )	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

### 【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は上記の電話照会先にご連絡ください。

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていた株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の照会先をお願いいたします。

公告の方法	当社ホームページに掲載する。 http://www.plustech.co.jp
上場証券取引所	大阪証券取引所 JASDAQ(スタンダード) (証券コード: 6401)



株式会社 ソディック プラステック  
 〒224-8522 神奈川県横浜市都筑区仲町台 3-12-1  
 TEL:045-948-1405 (代表)

